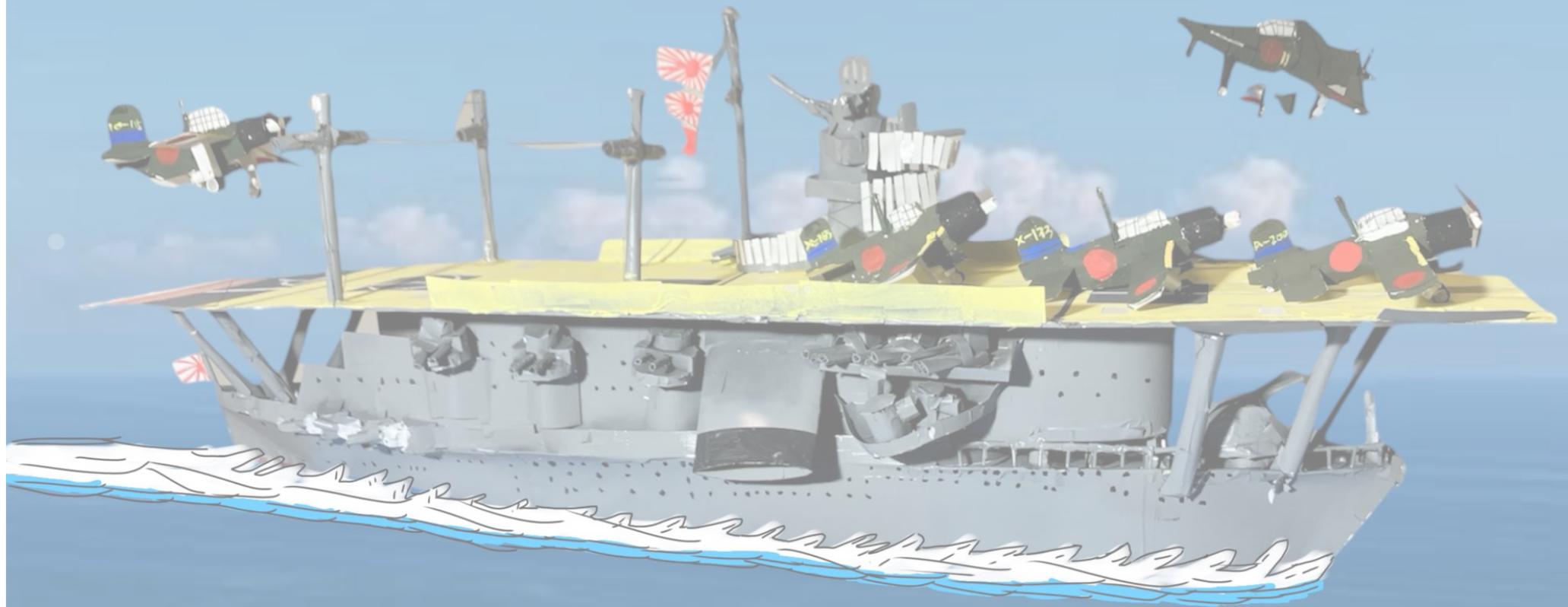


# ぼたん



令和7年1月14日発行 北海道大谷室蘭高等学校 PTA広報部 Vol.64



美術部 1年B組 竹内謙佑

素材：紙

# 球技大会・陸上記録会

9月26日（木）、栗林アリーナにて校内球技大会、翌27日（金）、日鋼室蘭スポーツパークにて陸上記録会が行われました。球技大会は大会前の体育の授業で練習した成果を発揮し、ハイレベルの試合が展開されました。陸上記録会は真剣に新記録を狙う種目と楽しい生徒会企画で盛り上がりました。



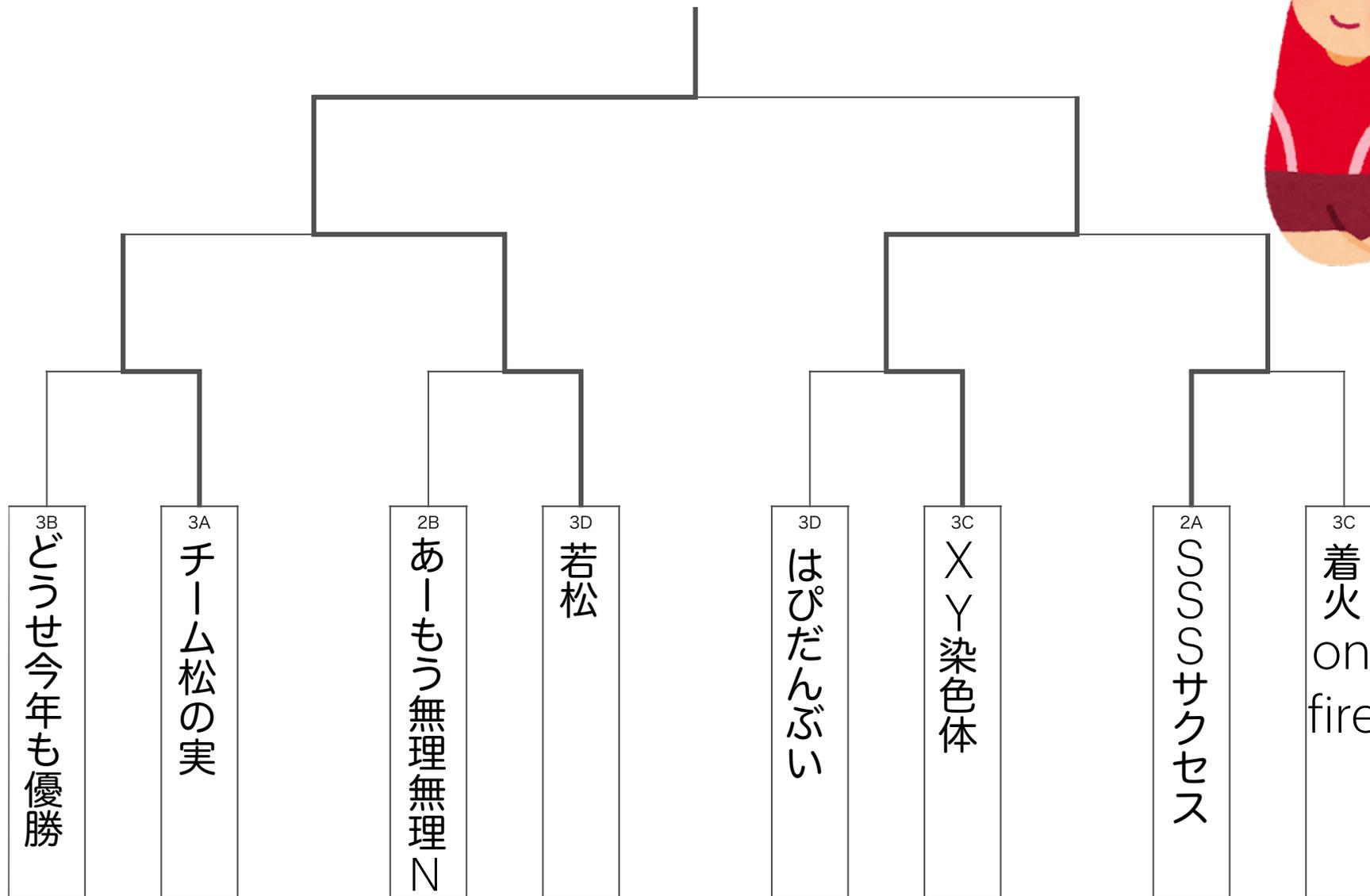
# 球技大会・陸上記録会



# 球技大会 男子決勝トーナメント



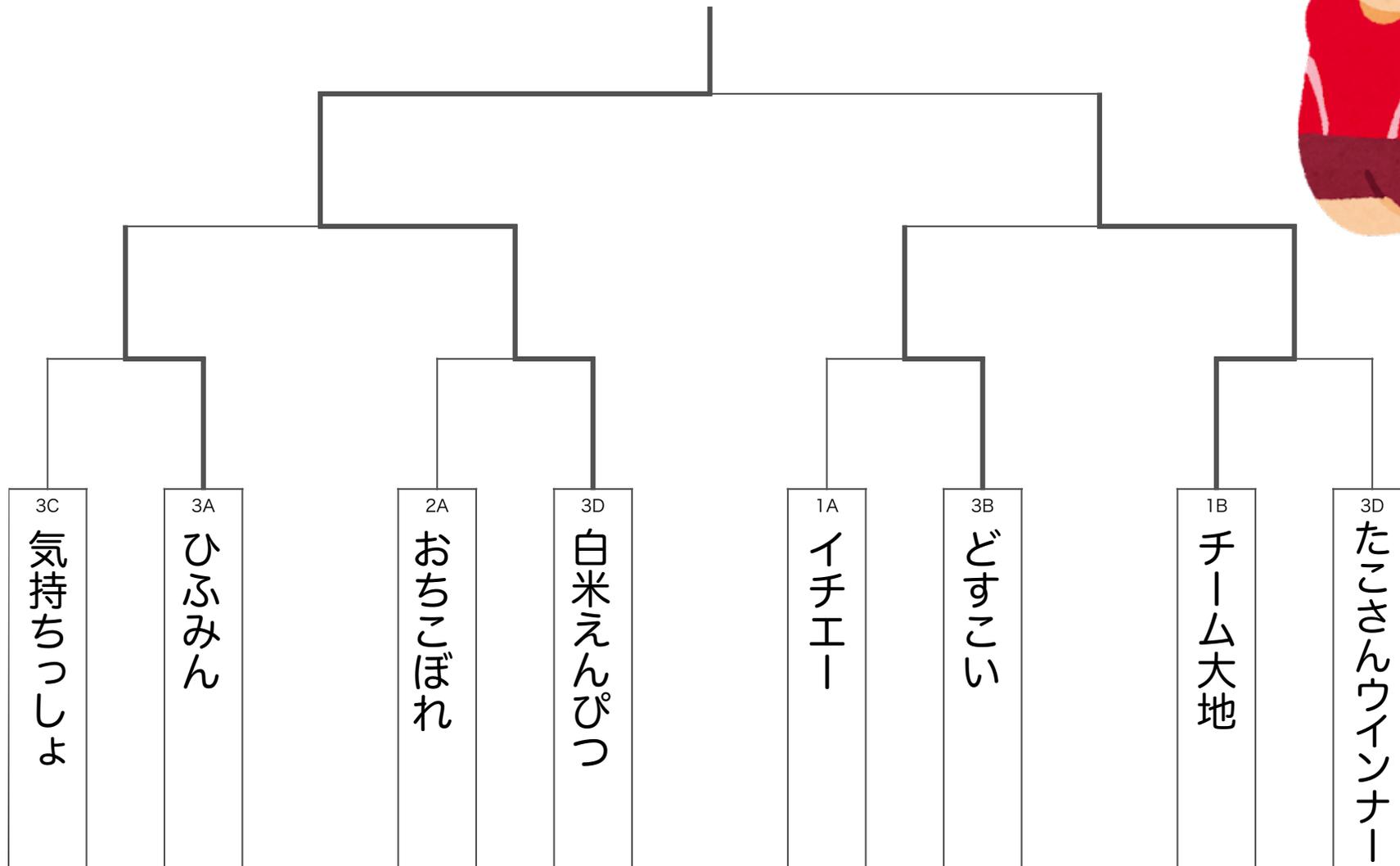
3D 若松



# 球技大会 女子決勝トーナメント



3D 白米えんぴつ



# 球技大会・陸上記録会

球技大会 男子優勝 3D 若松



# 球技大会・陸上記録会

球技大会 女子優勝 3D 白米えんぴつ



# 球技大会・陸上記録会

陸上記録会 優勝 1年D組



# 球技大会・陸上記録会

総合優勝 3年D組



# 芸術鑑賞

今年の芸術鑑賞は、10月9日（水）に本校講堂で、寄席入門が行われました。寄席とは、落語を軸とした演芸が演じられる場所で、現在でも東京・大阪では年中無休で興行しています。

最初に、寄席入門として、寄席の見方、聞き方について説明があり、落語を二席楽しみました。休憩をはさみ、体験コーナーでは各学年代表生徒による、落語家の仕草の実演体験があり、奮闘する生徒の様子に全校生徒は大いに盛り上がりました。

また、色物として曲ごまの披露があり、見事なこまさばきに盛り上がりはピークを迎えました。



# 芸術鑑賞

実演体験(剣を抜く) 1年C組 菊地 遥斗さん



# 芸術鑑賞

実演体験(本読み) 2年B組 富山 学太郎さん



# 芸術鑑賞

実演体験(そば食い) 3年B組 白井 優斗さん



# OTANI自然環境活動

今回も昨年に引き続き、室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会の皆様との交流を通して、海岸のごみについて考え、海の環境保護に取り組む活動を行いました。

清掃活動に先立ち、9月18日（水）、鳴り砂を守る会の皆様による事前学習が行われ、イタンキ浜の歴史、音が鳴る理由、プラスチック汚染から鳴り砂を守る意義についてお話しいただきました。

そして10月10日（木）、イタンキ清掃活動の実践に取り組みました。事前学習で得た知識を基に、全校生徒は一つのごみも見逃さないよう、砂浜をくまなく見回り、清掃に取り組んでいました。

終了後、事前学習と実践活動を振り返り、代表的な感想を鳴り砂を守る会に送りました。



# OTANI自然環境活動



# OTANI自然環境活動



# スマートフォンと健康被害 講話



11月22日（金）に本校講堂で、全校生徒を対象にスマートフォンと健康被害についての講話が行われました。北海道医療大学心理科学部臨床心理学科准教授金澤 潤一郎様を講師に迎え、スマートフォンが健康に与える影響について理解を深め、適切な使用方法を身に付けることを目的に実施しました。

現代人は全年代にわたり、テレビ視聴よりもネット閲覧の時間が長くなっています。一方、インターネット利用に不安を感じる人も多く、インターネット依存特にゲーム依存の心配もあります。

ゲームに注目すると、ゲーム好きと依存症の違いは、楽しみとしてのゲームから病的なゲーム、ゲーム障害へと移り変わることが挙げられます。その結果、学校の楽しさが低下し、家でのゲーム・スマホの楽しさが増大してしまい、不登校等現実の生活への不適應が表れてしまうというわけです。

最後に心理師からのメッセージとして、「ゲーム・スマホを全く使用しない時間を作る」「家族全体でスマホ使用の時間も減らす」「リアルな生活を豊かにする＝スマホがすべてにならないように（依存先を増やす）」「リアルな生活での困難から回避としてスマホ依存している場合、リアルな生活に立ち向かうことができるようにサポートが必要」といった、スマホ使用の心構えについてお話いただきました。



# スマートフォンと健康被害 講話



# 漢字コンクール 入賞者

毎年行われる漢字コンクール。今年は、10月1日（火）に実施されました。成績上位者には図書カードが贈られました。

- |     |            |
|-----|------------|
| 1位  | 矢野芽衣 (2A)  |
| 2位  | 藤柳麻子 (3D)  |
| 3位  | 高島杏奈 (2A)  |
| 4位  | 澤口心実 (3A)  |
| 5位  | 及川叶愛 (3A)  |
| 6位  | 蛇池泰生 (3D)  |
| 7位  | 朝岡紗知 (2D)  |
| 8位  | 佐藤燎吉 (3B)  |
| 9位  | 松ヶ崎真珠 (3C) |
| 10位 | 佐藤蓮 (3C)   |



# 交通安全教室

10月3日（木）に室蘭中央自動車学園で、3年生を対象に交通安全教室が開かれました。時速40キロメートルからの急ブレーキによる危険運転体験、飲酒後の体調変化体験を学びました。

また、自転車運転の不注意による大事故の事例をDVDで鑑賞し、一瞬の注意不足が一生取り返しのつかない怪我などにつながる、交通事故の恐ろしさを改めて知ることができました。

3年生は現在、就職内定者を中心に自動車学校に通っています。運転免許取得後は交通安全教室で学んだことを忘れず、飲酒運転は絶対しない、周囲の確認を怠らない運転を実行してもらいたいものです。



# 生徒会役員

会長	高見 柚 稀	2年
副会長	安知谷 光	2年
	岡崎 萌 花	1年
	中居 琉 南	1年
書記	高瀬 葵 羽	2年
	辰 風 花	1年
	原 吏 桜	1年
会計	藤崎 瑞 希	2年
	佐々木 幸 芯	1年



# 修学旅行

## 行 程

11月26日(火)	東室蘭駅東口 →	新千歳空港 →	羽田空港 →	伊丹空港 →	東本願寺 →	ホテル
11月27日(水)	ホテル →		自主研修			ホテル
沖縄コース						
11月28日(木)	ホテル →	伊丹空港 →	那覇空港 →	ひめゆりの塔 →	おきなわワールド →	ホテル
11月29日(金)	ホテル →		美ら海水族館 →		マリンスポーツ →	ホテル
11月30日(土)	ホテル →	首里城 →	那覇空港 →	羽田空港 →	新千歳空港 →	東室蘭駅東口
台湾コース						
11月28日(木)	ホテル →	関西空港 →	台北桃園国際空港 →	台北市内(龍山寺・士林夜市) →		ホテル
11月29日(金)	ホテル →		B&S 自主研修プログラム →	十份観光 →	九份観光 →	ホテル
11月30日(土)	ホテル →		台北市内(忠烈祠・故宮博物館・中世記念堂・101展望台・免税店) →			ホテル
12月1日(日)	ホテル →	台北桃園国際空港 →	関西空港 →	新千歳空港 →		東室蘭駅東口



## B&S自主研修プログラム A組 高田隆介

私は、B&S自主研修プログラムで台北市を回りました。中世記念堂にいたり、本場のタピオカミルクティーを飲んだり、小籠包を食べたりできて、本当に楽しい時間になりました。その中で、あるビルのおもちゃコーナーに立ち寄ったときに、日本でもみたことがあるようなフィギュアがたくさん置いてあって、日本のアニメ文化の凄さを実感しました。一緒に回った友達やガイドとして回ってくれた台湾人大学生との絆を深めることができ、本当に有意義な時間となりました。



## ひめゆりの塔、マリンクラフト製作 B組 尾崎 悠空

ひめゆりの塔では慰霊碑や沖縄陸軍第三外科壕跡等を見学しました。中でもひめゆり平和祈念資料館で見た大型証言本や沖縄戦を生き残った生徒たちの証言映像に、当時の悲惨さを感じるとともに、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学ぶことができ、良い経験になりました。

マリンスポーツは悪天候により中止になってしまいましたが、マリンクラフトを体験することができました。砂浜で好きな形や色の貝殻やサンゴを集め、それらを使ってフォトフレームやサンゴ風鈴を作成しました。使った物、置く場所も人それぞれなので個性溢れる作品をつくることができ、有意義な時間でした。



# 台北市内観光 C組 大野 花恋

台湾で私が思い出に残っていることは2つあります。

1つ目は、十份という所でランタンに願い事を書いて、空に上げることです。ランタンを上げる場所に行くまでの道に屋台とかもあって、見ていて飽きない場所でもとても楽しかったです。

2つ目は、ご飯です。台湾の食事は円卓で、箸も長くて、飲み物は全て温かいお茶でした。一番おいしい食べ物は肉まん、小籠包、麻婆豆腐でした。肉まんにもたくさん種類があって3日間食事全部おいしかったです。

それに台湾の日本と違う文化にも触れられてとても良い経験になりました。次は違う国にも行ってみたいです。



# 関西自主研修 D組 舟迫 埜乃花

私たちの班はU S Jには行かずに京都、大阪巡りをしました。着物を着て京都の街を歩きました。どこも見渡せば古風な感じがして歴史を感じることができました。町を歩いていると班員がハンカチを落としました。すると「これ落としたよ。修学旅行かい。楽しんでね。」とおばさんが優しくハンカチを拾ってくれて街の優しさも感じられました。ひらかたパークもイルミネーションがすごく輝いていて、大阪っていいな、と思わせてくれるいいところでした。

この旅を通して様々な文化を学ぶことができて良かったです。



# 吹奏楽部定期演奏会 10月13日（日）

今年も第52回目の定期演奏会を盛大に開催することができました。第1部 コンサートバンドでは、交響曲『ハリーポッター』、今年度コンクール自由曲『時代～Year of Years!』、タイタニック号沈没事故をテーマにした『マードックからの最後の手紙』を演奏させていただきました。第2部 ジャズバンドでは、『茶色の小瓶』や映画音楽を流し演奏。第3部 コンサートバンドでは、近年好評のミュージカルシリーズ『アラジン』、続くショーバンドでは、『ルパン'78』をはじめとした部員セレクトによるスタンダードナンバーを披露して最後を飾りました。

ご来場くださいました皆様に、改めまして感謝申し上げます。今後ご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 美術部

8月22日(木)~23日(金)、高文連室蘭支部大会が、室ガス文化センターにて行われました。

本校からは4名4作品出品し、うち一作品は最優秀賞、二作品は優秀賞、一作品は奨励賞を受賞しました。夏休みも毎日登校し、時間をかけて丁寧に制作に取り組んだ努力の跡がうかがえる、見ごたえのある作品となりました。

10月9日(木)~10日(金)、旭川にて行われた全道大会に部員全員参加し、充実した研修の機会を得ることができました。

最優秀賞



「17才、毒」  
岩谷叶（2年）

# 美術部

優秀賞



「不動の紅雷」  
堀切喜仁（3年）



「つづき」  
米丸葉奈乃（3年）

美術部  
奨励賞



「航空母艦赤城」  
竹内謙佑（1年）



# 書道部

## 奨励賞



「顔氏家廟碑」  
千葉心愛（2年）



「鄭長猷造像記」  
山口雄大（2年）

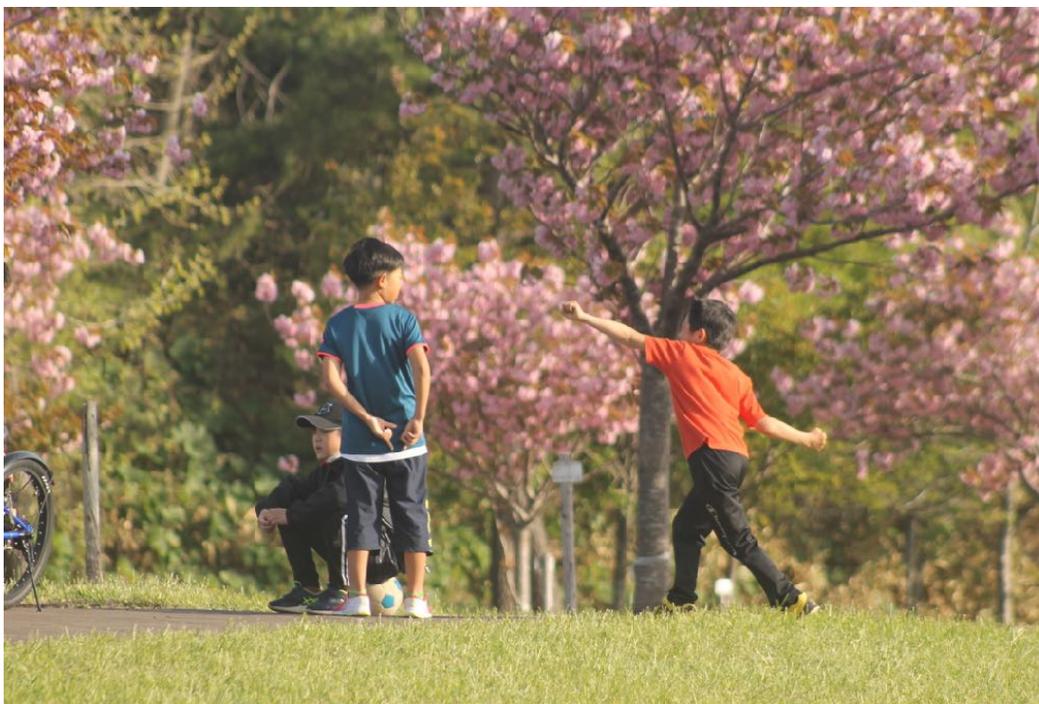
# 写真部

9月19日(木)、高文連室蘭支部大会が、ほくでん室蘭支社 ギャラリー「ふれあ」にて行われました。

本校からは8名33作品出品し、うち5作品が入選を果たしました。水曜日の活動日や夏休みを利用して、撮りためた写真からベストショットを選び、支部大会当日は講師の先生より作品批評をいただき、イタンキ浜の撮影研修にも臨みました。

入選作品は10月23日(水)～25日(金)、釧路にて行われた全道大会に出品し、撮影の技術や心構え等を学ぶ、貴重な研修の機会を得ることができました。

## 優秀賞



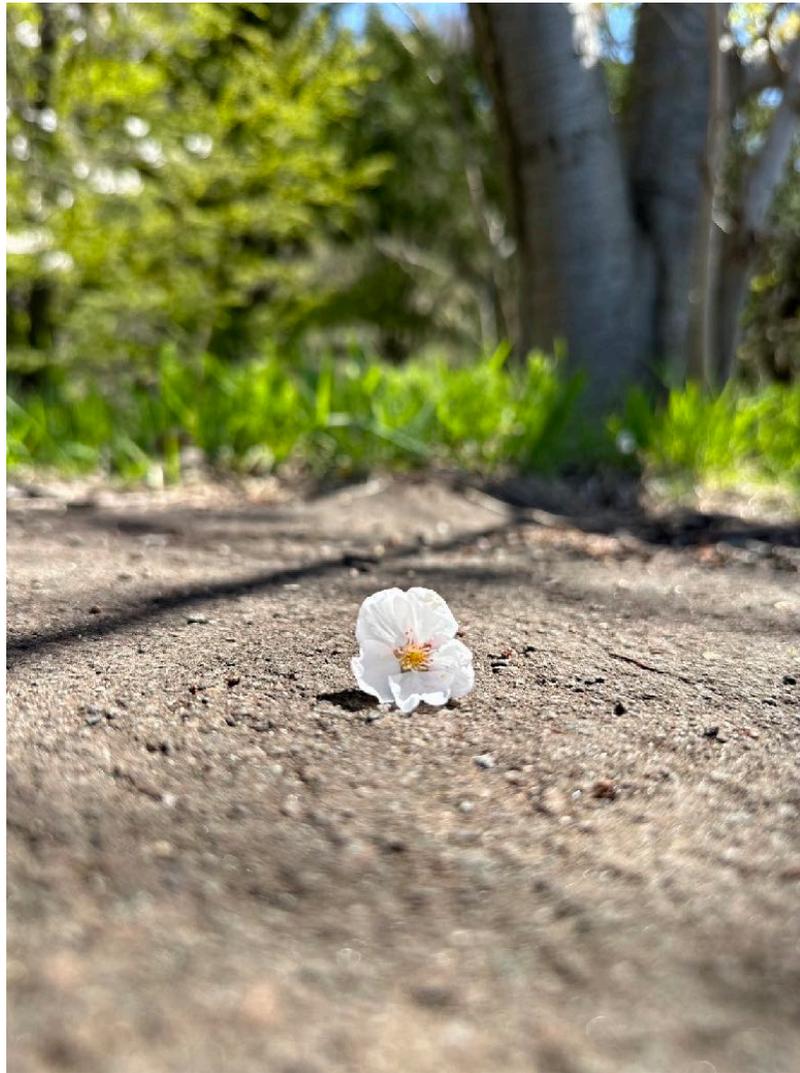
「ファイヤパンチ!!」  
今野颯太（2年）



「散歩中の愛猫」  
石井美生音（1年）

# 写真部

入選



「桜」  
山口雄大（2年）



「留守電」  
今野颯太（2年）



「ブランコ」  
吉田栞奈（1年）

# 報恩講 ①

12月13日（金）、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の後祥月命日に勤める法要、報恩講が、本校講堂にて執り行われました。

最初は、物故者の追弔および法要が行われ、教職員関係2名、生徒関係15名の物故者の方々のお名前が理事長により読まれ、焼香を行いました。

法話は、伊達市 皆遵寺 住職 孤野利文様より、「見えてる？会えてる？聞こえてる？」と題し、報恩講は親鸞聖人のご命日にお念仏の教えを確かめる、最も大切な宗教行事であること、南無阿弥陀仏のお念仏の意義をお話してくださいました。南無阿弥陀仏という言葉には、「はかることができない」という意味があり、親鸞聖人は、この阿弥陀の世界に出会わないと、善悪、損得、長短、勝ち負けなどの自分中心のモノサシではかることを止められないと教えて下さっています。孤野先生はつねにこの教えを最も大切にされています。



## 報恩講 ②

また、孤野先生は住職の傍ら、「BOSANソングライター-KONO」という名義で、オリジナルの楽曲を制作し、ライブ活動を精力的に行っています。孤野先生は毎年本校の法語を考案下さっていますが、その法語をテーマにした楽曲もあり、今回は今年度の本校の法語をテーマにした『見えてる？会えてる？聞こえてる？』をご披露いただきました。また、平成28年度の法語『自分発見・自分覚悟』、令和元年度の法語『どんなあなたも光ってる』の演奏もあり、孤野先生の本校生徒に対する深い想いや期待をうかがい知ることができました。

このような、法語に基づいたオリジナル楽曲を、生徒が在学中に必ず一度は聴くことができるよう、孤野先生には3年ごとに法語をいただいています。次回の3年後、どのような法語の楽曲が聴けるか楽しみです。



## 編集後記

令和6年は、コロナウイルス流行前の状態にほぼ戻り、ほとんどの行事が無事開催されました。日鋼室蘭スポーツパークもリニューアルし、陸上記録会が盛大に復活し、本来の北海道大谷室蘭高校の学校生活を生徒は送ることができたと思います。一方、物価の高騰がなかなか止まりません。そのため、修学旅行はオーストラリアを断念し、台湾を選択肢に入れ、国内は4泊5日、台湾は5泊6日という、以前の修学旅行期間に比べると短期間となりました。

物価高騰の要因としては、ロシア・ウクライナ戦争、ガザ地区をはじめとする中東の混乱等が挙げられます。修学旅行国内は沖縄を訪れましたが、ひめゆり平和祈念資料館の見学を通して、戦争の愚かさ、平和の大切さを改めて学ぶことができました。

また、令和6年は、能登半島を中心に地震や豪雨による災害が起こった年でした。かつてない大きな自然災害への備えの大切さについても考えさせられました。

明るい話題は何といても、パリオリンピック・パラリンピックでの日本勢の活躍でしょう。道内出身選手としては、やり投げ金メダル、北口榛花選手、車いすラグビー金メダル、池崎大輔選手等の活躍は、私たちに日本人としての誇りをもたらしました。その証として、今年の漢字は「金」が選ばれました。

令和7年は、現在世界で起こっている戦争が全て終結し、平和に満ちた年でありますよう、また、自然災害の被害がない年になりますように念じています。